

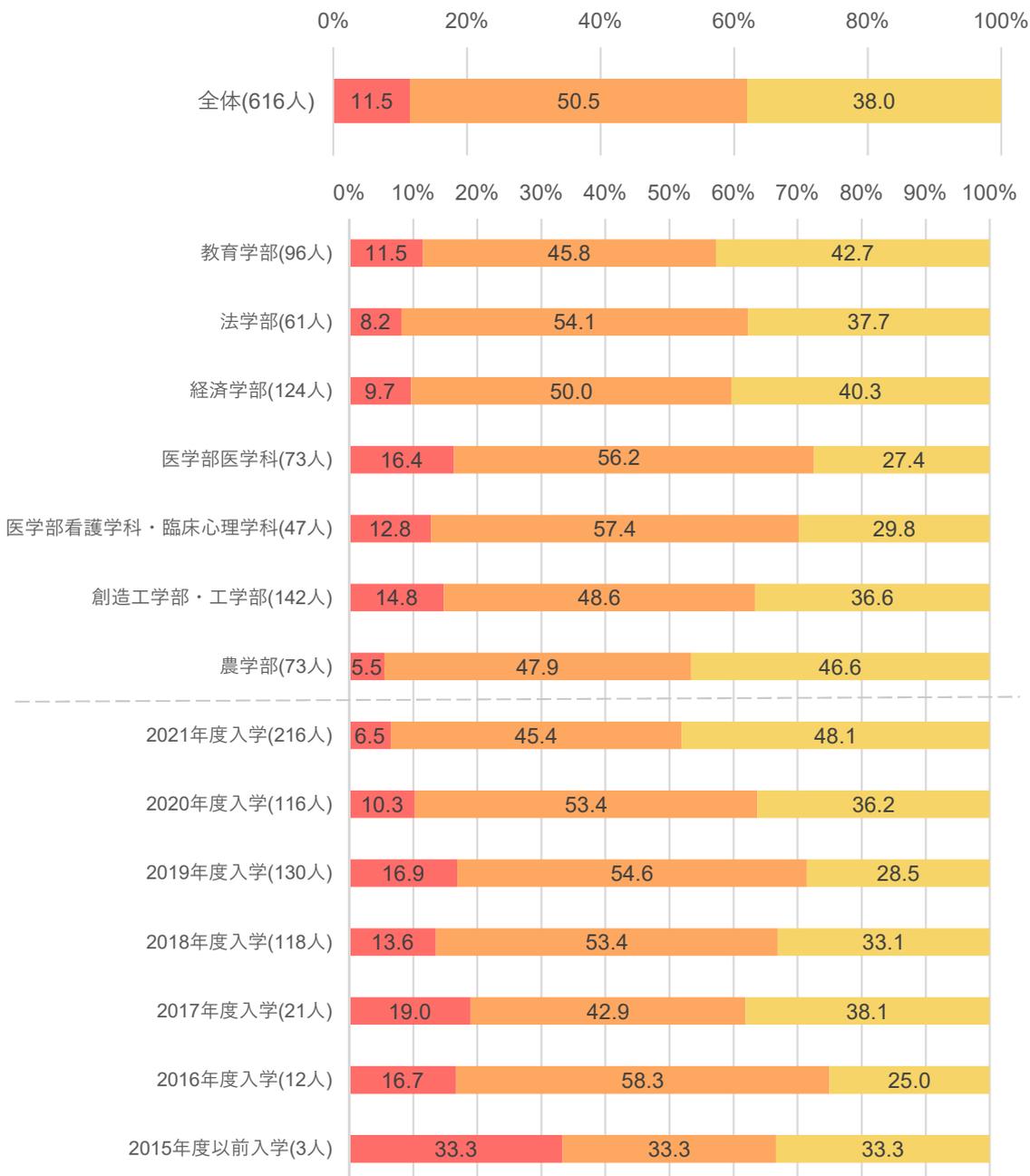
4 新型コロナウイルスの影響について

(1) 自粛期間中の生活について

問4-1 生活リズムは、新型コロナウイルスの影響により変化しましたか。

新型コロナウイルスの影響による生活リズムの変化について尋ねたところ、生活が不規則になったと回答した学生が、全体ではほぼ半数の50.5%でした。学部別では、生活が不規則になったと回答した割合が平均を上回ったのは、法学部、医学部医学科、医学部看護学科・臨床心理学科の3学部・学科でした。特に後二者は医学系の学科であり、学部の特性が影響している可能性が考えられます。入学年度別では、2021年度入学生は、生活が不規則になったと回答した割合が平均を下回り、他年度生と比較しても最低でした。昨年度から続く新型コロナウイルスの影響に最も対応できているといえそうです。

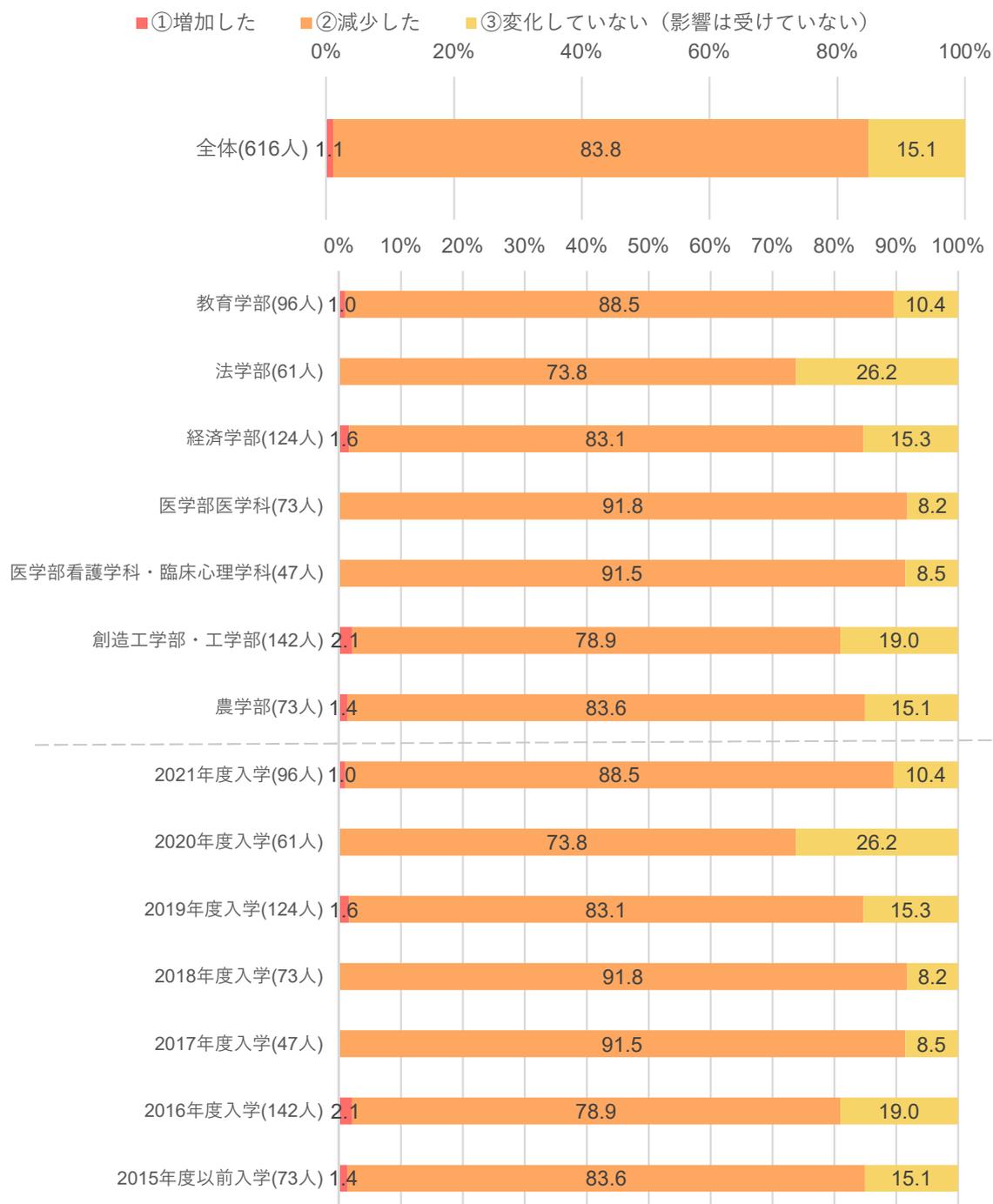
■①規則正しい生活を送れるようになった ■②生活が不規則になった ■③変化していない（影響は受けていない）



(2) 外出頻度について

問4 2 外出の頻度は、新型コロナウイルスの影響により変化しましたか。

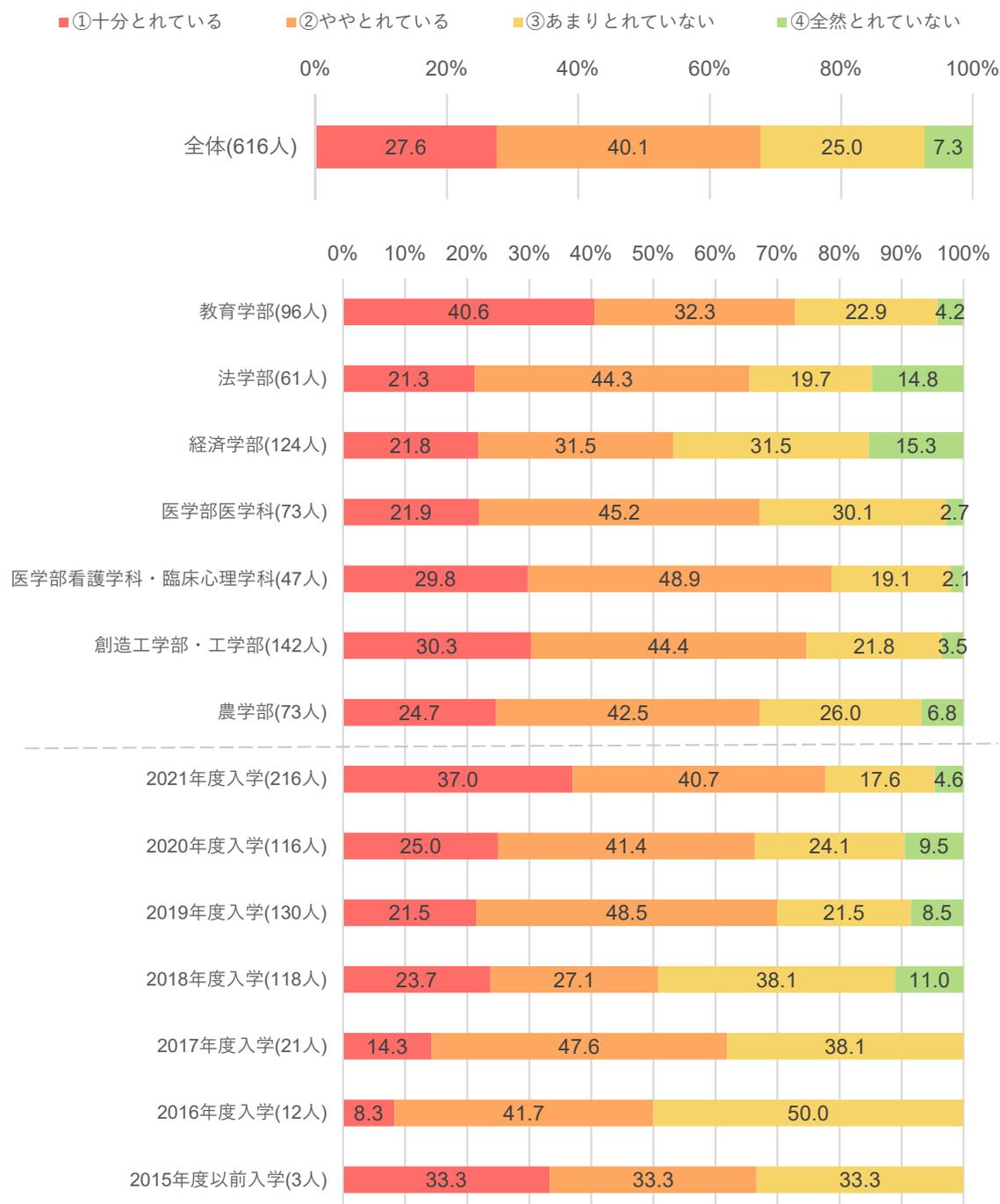
新型コロナウイルスの影響による外出頻度の変化について尋ねたところ、減少したと回答した学生が、全体では83.8%と大半を占めました。学内外での自粛の要請が影響したものと考えられます。学部別では、特に医学部医学科、医学部看護学科・臨床心理学科の学生において、減少したと回答した学生の割合が大きく、学部の特性が関係していそうです。入学年度別では、2020年度入学の学生において、減少したと回答した割合が最も低かったことが気になります。昨年度大学生活を大きく制約された反動があったのかも知れません。



(3) 同級生とのコミュニケーション

問43 同級生や友人とのコミュニケーションについて、どのように感じていますか。

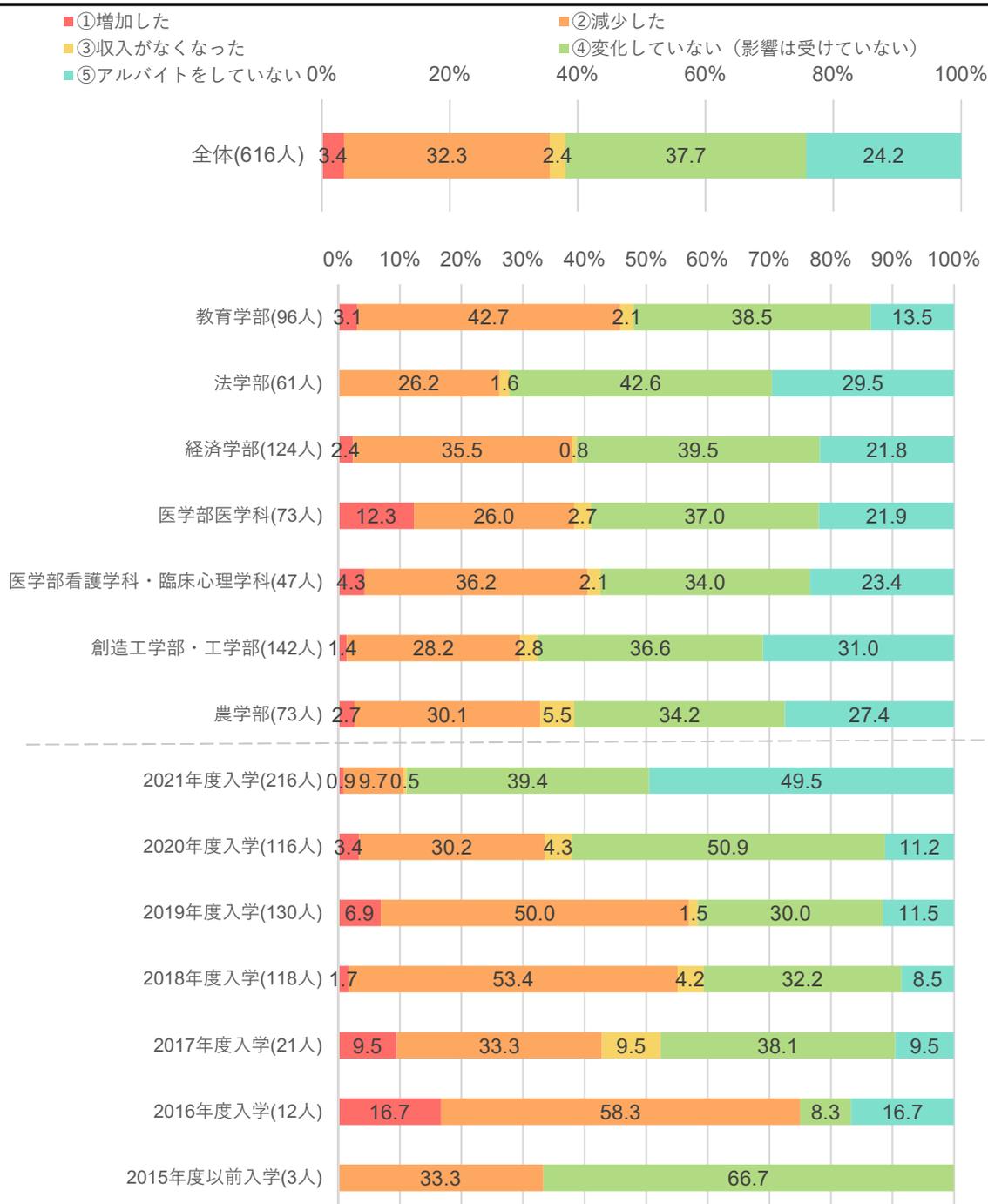
新型コロナウイルスの影響による同級生や友人とのコミュニケーションの変化について尋ねたところ、全体では67.7%の学生が「十分にとれている」「ややとれている」と回答しました。行動の制約が大きい中でも、半数以上の学生がある程度のコミュニケーションを確保できているのは良い傾向といえます。学部別では、比較的ばらつきが大きい結果となり、このような差異が何に起因するのかが気になります。入学年度別では、2021年度入学の学生が最もコミュニケーションがとれているという結果になりました。問41および問42の結果と考え併せても、新型コロナウイルスの影響に上手く対応できているといえそうです。



(4) アルバイトへの影響

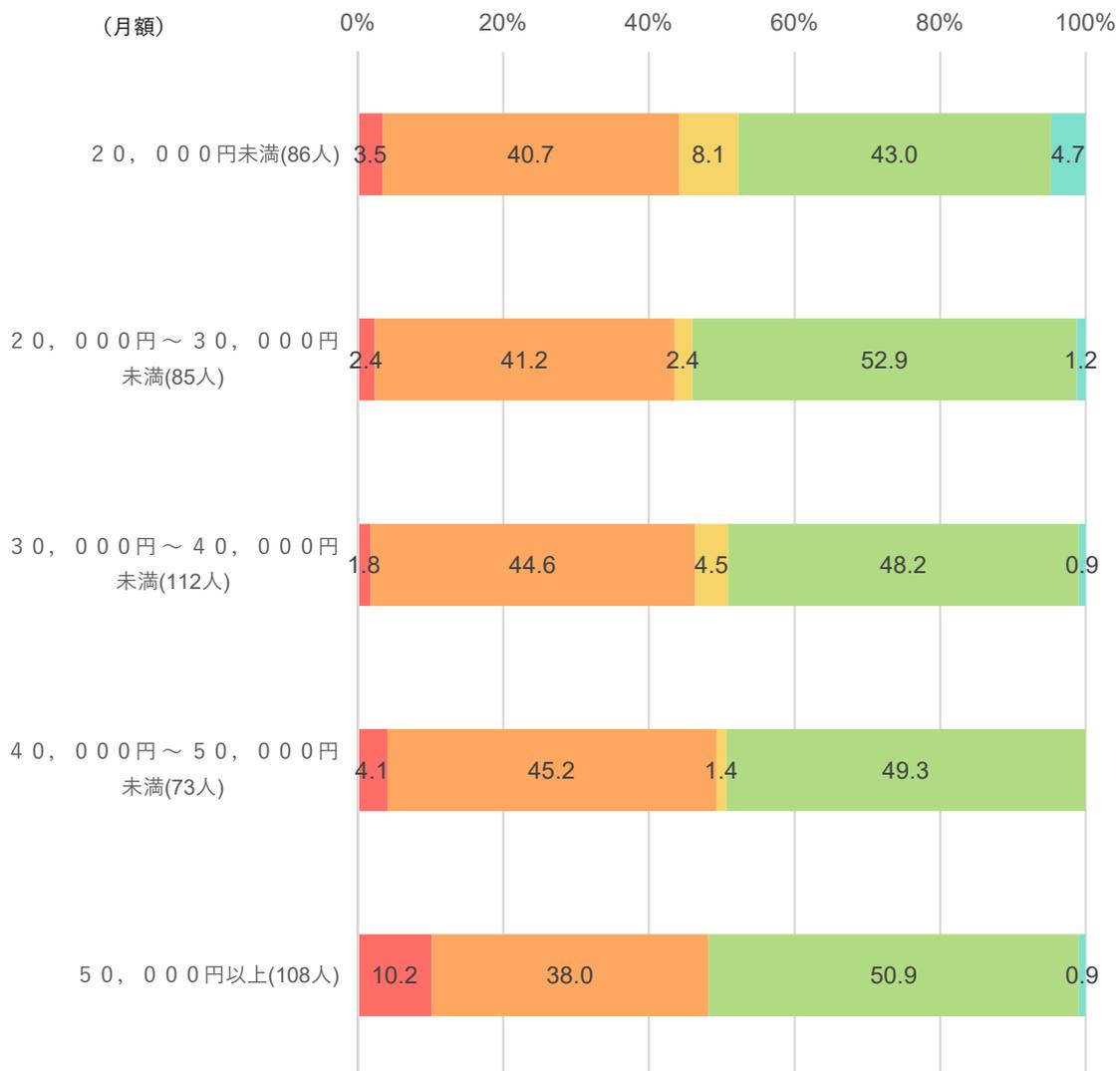
問4-4 アルバイト収入は、新型コロナウイルスの影響により変化しましたか。

新型コロナウイルスの影響によるアルバイト収入の変化について尋ねたところ、全体ではアルバイトをしている学生の半数程度にあたる32.3%が「減少した」と回答しました。またごく少数ながら、「収入がなくなった」と回答した学生も一定数みられました。アルバイト収入の減少は学びの継続にも大きく影響することから、適切な支援が必要といえます。学部別または入学年度別では、いずれもカテゴリごとのばらつきが大きい結果となりました。



(変化×月収)

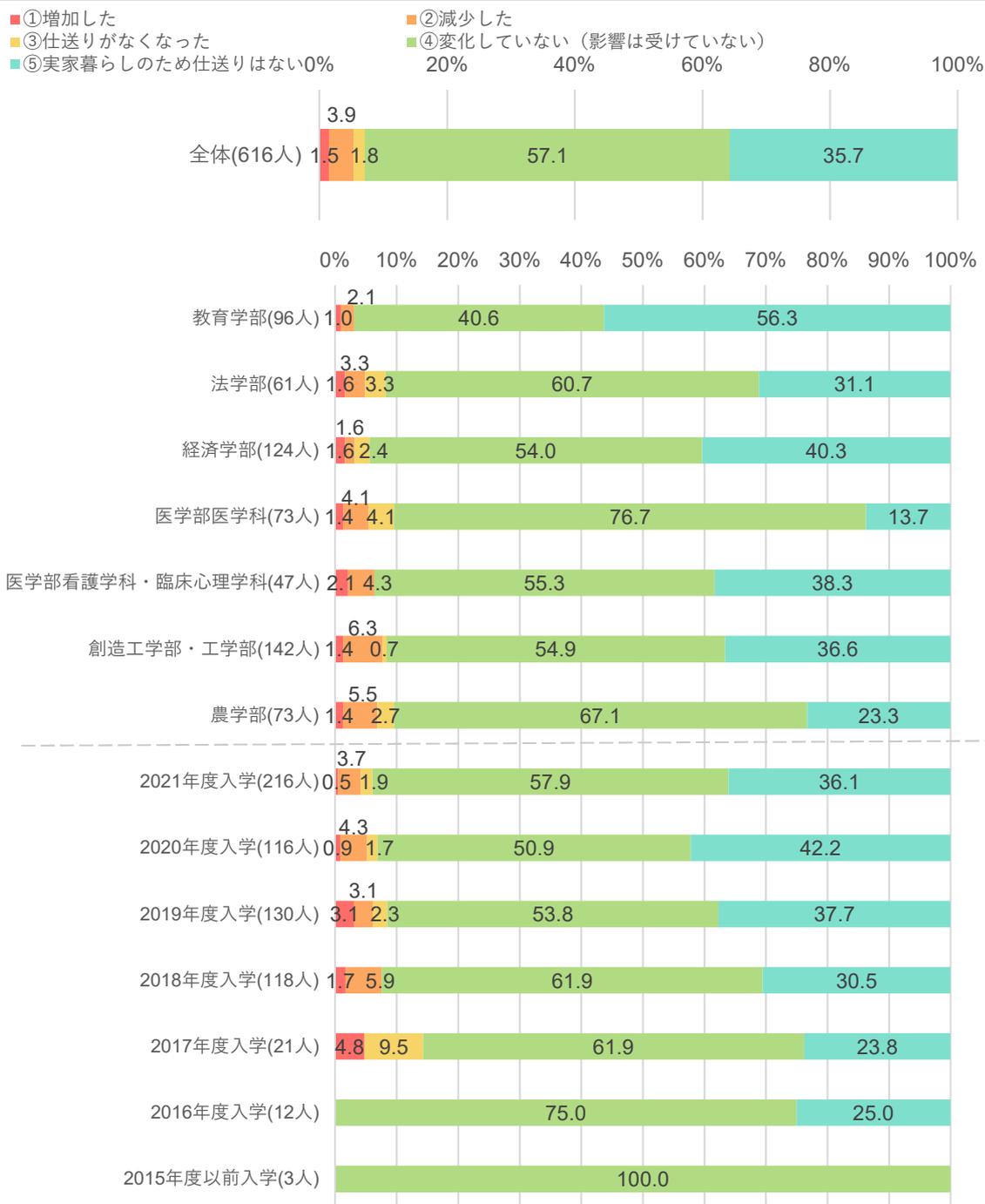
- ①増加した
- ②減少した
- ③収入がなくなった
- ④変化していない(影響は受けていない)
- ⑤アルバイトをしていない



(5) 仕送りへの影響

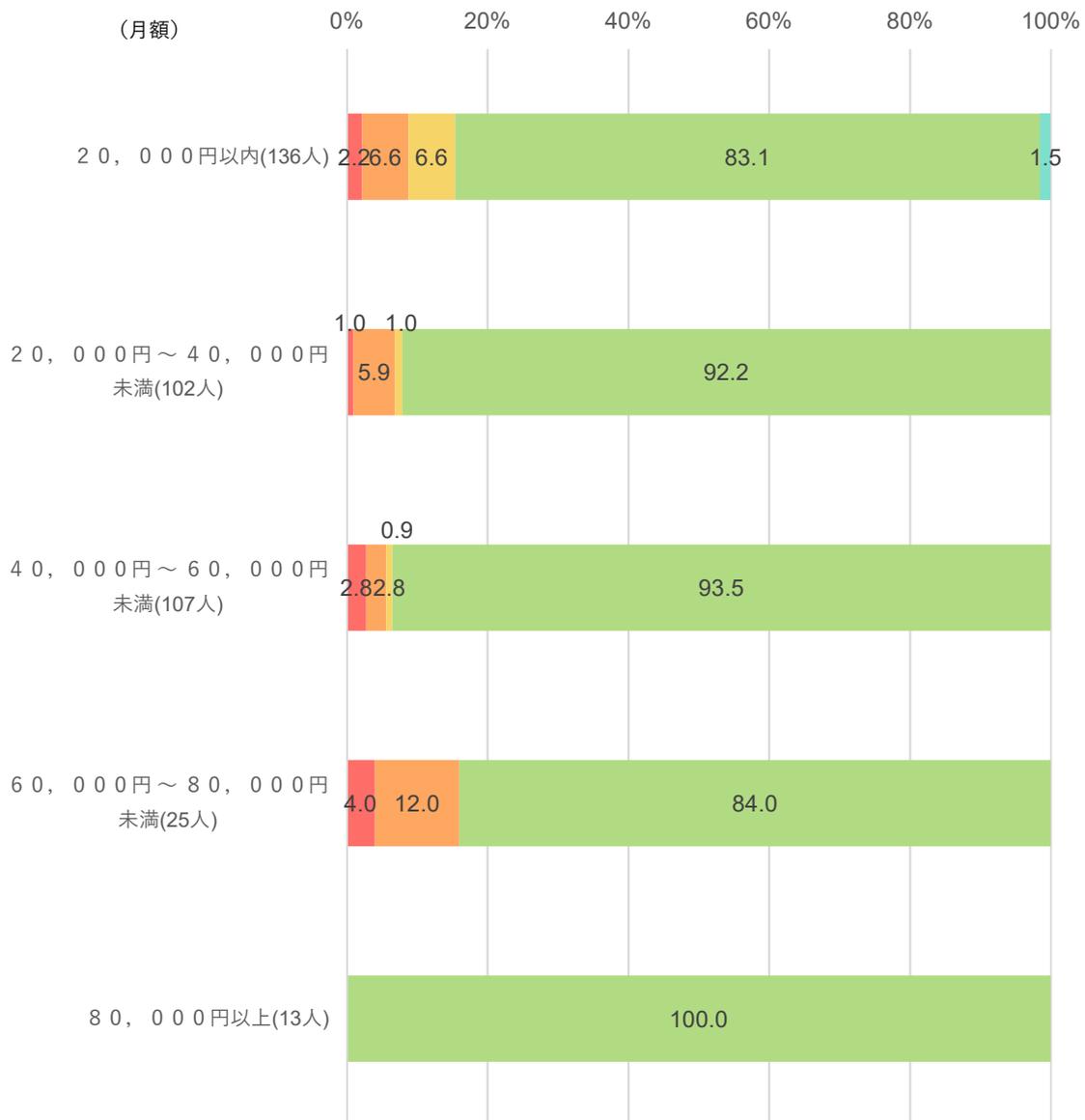
問 4 5 仕送りは、新型コロナウイルスの影響により変化しましたか。

新型コロナウイルスの影響で仕送りが増加・減少・なくなったとの、変化が生じたと回答した割合は7.2%でした。さらに変化の内訳としては、減少したと回答した割合が最も高く3.9%でした。仕送りの一か月あたりの金額と変化をクロス集計したのを見ると、仕送りを月額6万円から8万円受けている学生について、なにがしかの変化があったと回答した割合が最も高くなっています。それに次いで月額2万円以内の仕送りを受けている学生のなかで変化したと回答した割合が高くなっています。特にこのグループについては、仕送りがなくなったと回答した割合が他の月額グループよりも高くなっています。



(変化×月額)

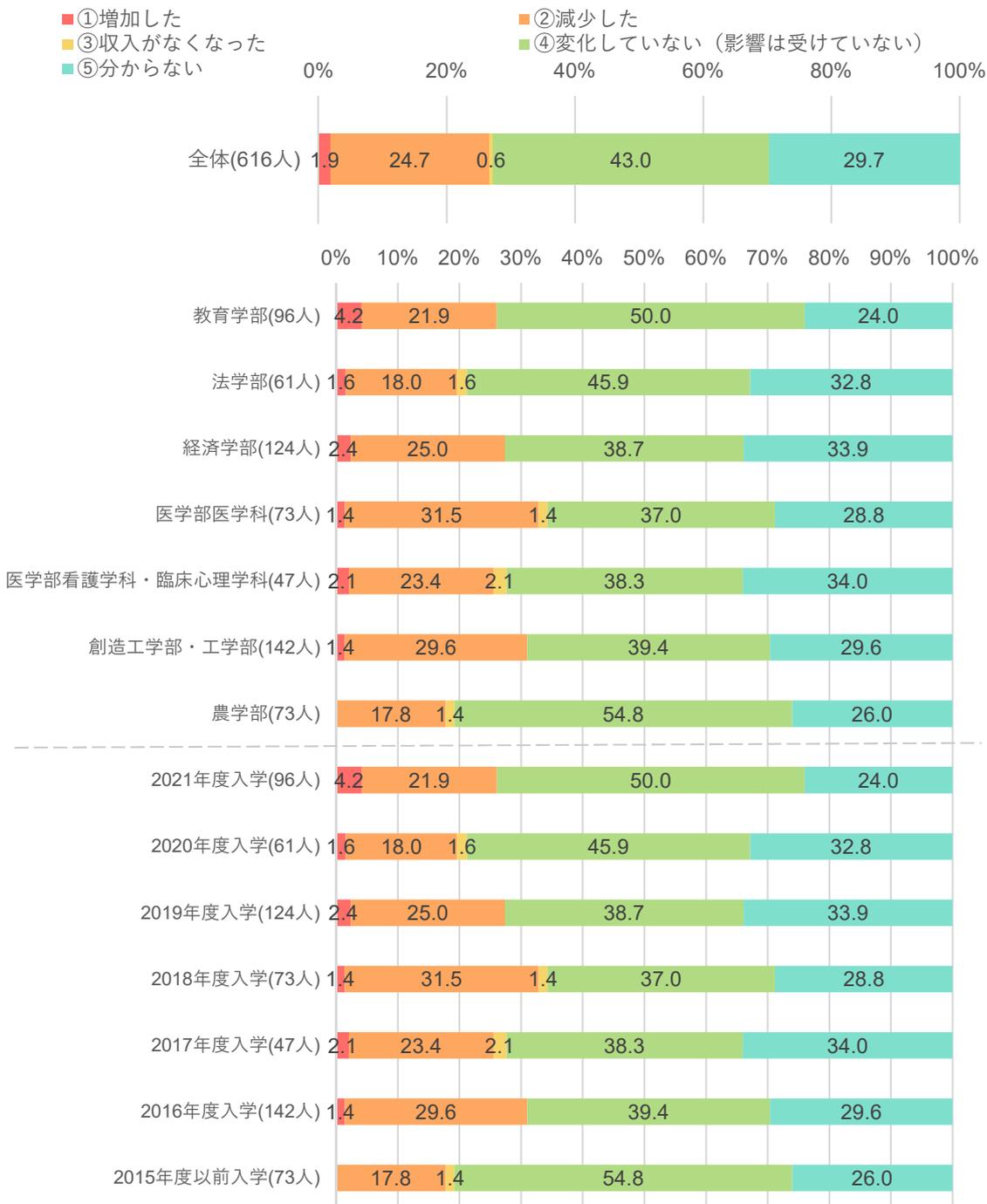
- ①増加した
- ②減少した
- ③仕送りがなくなった
- ④変化していない（影響は受けていない）
- ⑤実家暮らしのため仕送りはない



(6) 実家の収入への影響

問4 6 実家（主たる生計維持者）の収入は、新型コロナウイルスの影響により変化しましたか。

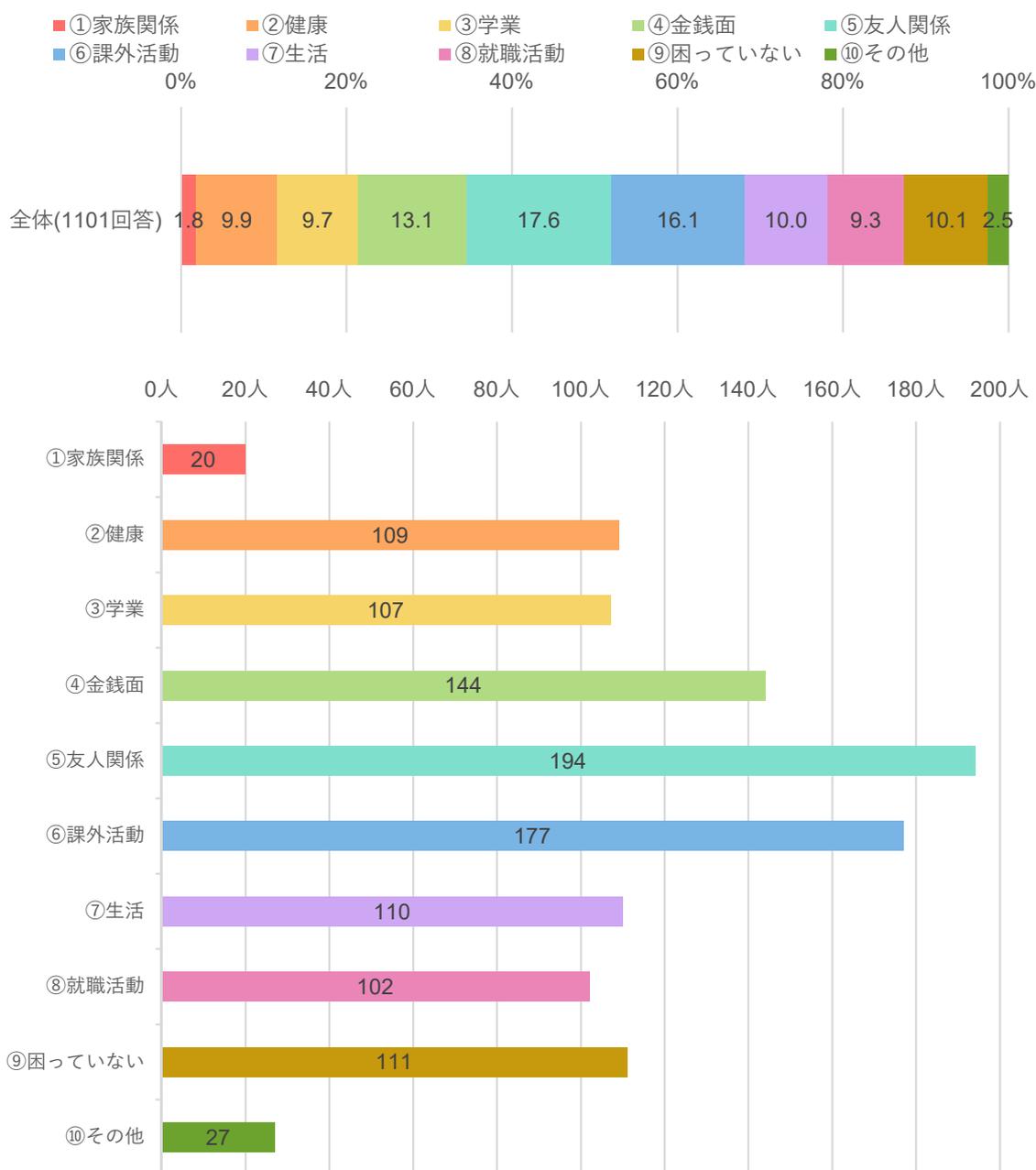
実家（主たる生計維持者）の収入については、変化していないと回答した割合が最も高く、43%でした。次いでわからないとの回答の割合が29.7%と高くなっています。それら以外の回答のなかでは、減少したとの回答の割合が最も高く24.7%でした。変化していない・わからない以外の回答の割合に着目すると、学部別では医学部医学科、入学年度では2018年度入学生のグループで最も高くなっています。



(7) 新型コロナウイルスの影響で困っていること

問47 新型コロナウイルスの影響で、あなた自身が困っていることは何ですか。(複数回答)

最も多く挙げられたのは友人関係でした。昨年より新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、広範囲の移動や活動の自粛が呼びかけられてきました。その影響が友人関係や課外活動といった、他者との交流や制限されない行動を前提とする活動にも及んでいることがうかがえます。またそれらに次いで困っていることとして、金銭面も多く挙げられています。この背景として、感染拡大を防止するため生活に通常よりもお金がかかる、仕送りが変化する、思うようにアルバイトができず収入が減るなどの事情があったと考えられます。

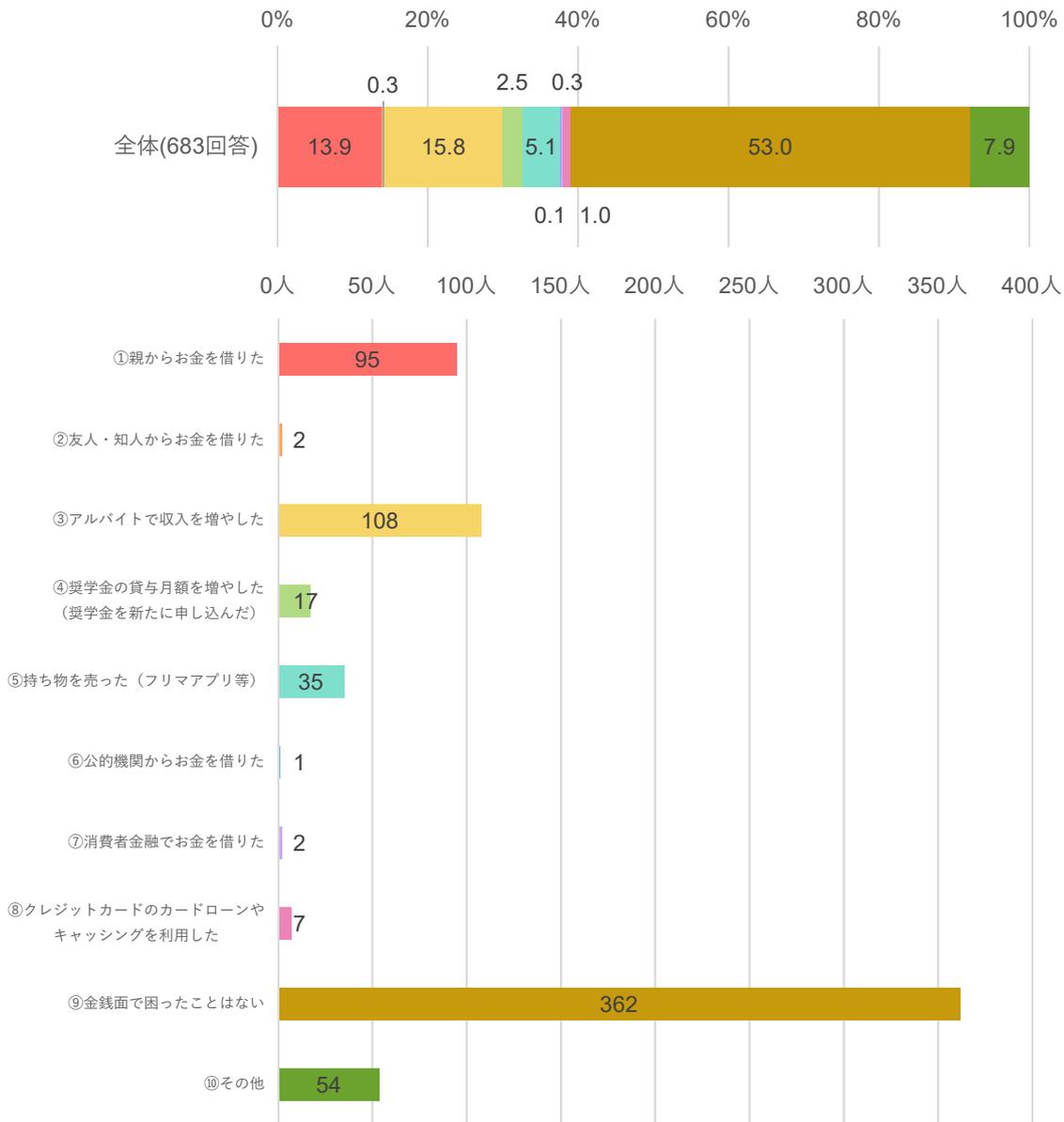


(8) 金銭面で困った場合の対処

問48 新型コロナウイルスの影響により金銭面で困った時、どのようにお金を工面しましたか。
(複数回答)

この質問に対しては、金銭面で困ったことはないとの回答が最も多くありました。他方で困った時の工面の仕方として最も多かったのは、アルバイトで収入を増やすとの手段でした。親からお金を借りたとの回答も多くなっています。その一方で、奨学金を増額した・新たに申し込んだ、公的機関からお金を借りたとの回答は少数にとどまっています。大学にもさまざまな奨学金や援助制度があります。困った時には大学も相談して利用してみるとよりよいと思われます。

- ①親からお金を借りた
- ②友人・知人からお金を借りた
- ③アルバイトで収入を増やした
- ④奨学金の貸与月額を増やした
(奨学金を新たに申し込んだ)
- ⑤持ち物を売った(フリマアプリ等)
- ⑥公的機関からお金を借りた
- ⑦消費者金融でお金を借りた
- ⑧クレジットカードのカードローンやキャッシングを利用した
- ⑨金銭面で困ったことはない
- ⑩その他



(9) サークルや課外活動への影響

問49 サークルや課外活動について、新型コロナウイルスの影響を受けて困っていることや不安なことはどのようなことですか。(複数回答)

行事やイベントを中止せざるを得ないことが最も多く回答されました。複数の人を集めるとなると、感染拡大防止のため広い会場を用意し消毒用の物品を用意する、内容や実施方法を変更するなど、さまざまな対策を講じる必要があります。対策に気を遣う必要がある、感染者数が急増するなどの事態に陥った場合には行事等は中止せざるを得ないなど、感染症に左右され思うように活動ができない状況が反映されていると考えられます。さらにこの状況のもとで新入部員を確保できない、今いる部員同士で相談ができないなど、将来的に団体の活動を維持していけるのかについても不安のあることがうかがえます。

